

Hokkaido  
ECO  
action!

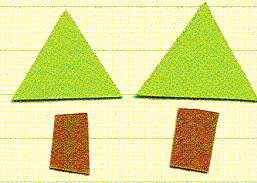
もっと  
北海道  
2011

三井物産の森「似湾山林」で子どもたちが林業体験!

親子18組が  
参加!

# 森のフィールドセミナー

7月に開催された北海道エコ・アクション特別講座「こども環境セミナー」の実践編として、9月10日(土)に三井物産(株)が保有する似湾山林(勇払郡)で「森のフィールドセミナー」が開催されました。参加したのは道内の小学5・6年生の子どもたちと保護者18組36名。大自然に抱かれた一日、子どもたちは何を見て・体験して・考えたのでしょうか?



「あれがマタタビ、ヤマブドウ…」名前も知っていても初めて見る木に興味津々



記念標柱を囲んで記念撮影。森と仲良くなった一日、みんないい笑顔です

森を教室に、  
自然を学ぶ。

**間伐に歓声! ノコギリに大苦戦!**  
20分ほど歩いたところで林業機械「ハーベスタ」によるカラマツの間伐を見学。成長状態の

三井物産(株)では全国に74カ所の森を保有し、林業と環境保全の両立に取り組んでいます。その中で、三井物産が取得した今年で100年目を迎える似湾山林が今回の教室です。バスの中で三井物産(株)吉藤江美さんから似湾山林についてのお話を聞いた後、自己紹介をしたりするうちに現地に着きました。似湾山林を管理する三井物産フォレスト(株)のスタッフの皆さんの引率で、4グループに分かれて森に入りました。「カラマツみたいな甘い香りがする」というカラマツの木の枯葉の匂いをかいたり、草陰から顔を出したヤモリを捕まえたり、早くも子どもたちは興味津々。さあ、これからどんな森の秘密に会えるかな。



「収穫」を意味するハーベスタ。現代林業の頼もしい味方です

良くない木を選んで伐採し、枝を払い、指定した長さで切る一連の作業がもの1分程度で完了! 迫力満点の様子に歓声が上がりました。「樹木は放っておくと混雑し、成長を滞らせませす。また枝葉が茂り太陽の光が届かなくなると、下草が伸びず森の保水力が下がってしまう。適度に間伐し、森全体の成長を促すことも間伐した木は私たち人間の暮らしに役立てる。農業と同じく林業も、植えて育てて収穫するサイクル」を繰り返していきんです。という三井物産フォレスト(株)のスタッフ



ノコギリは引く力で切るのがコツ。でもこれがなかなか難しい!

フの言葉に、大人も子どもも大きくなりたいと思いました。森の澄んだ空気の中でお弁当を食べた後はコースターも使われるアオダモ、北海道でおなじみのエゾユイチイの木丸太を輪切りにして作ります。ノコギリで固い木を切る慣れない作業に子どもたちは大苦戦でしたが、大人の助けを借りつつ世界で一つだけのコースターが完成。切りたての木の香りをかきながら、大満足の様子でした。

50年後の森を  
夢見て植樹体験。



セミナー最後のプログラムは植樹体験。種から育てる5・6年のトドマツの苗木を、スコップで地面に穴を掘って一本ずつ植えていきます。根の根が縦横無尽に伸びた森の土は固く掘り起こすのもひと苦労。親子で汗を流しながら全て植樹し終えたら、記念標柱を立てて全員で「ハイチース!」50年後、参加した子どもたちがおじいさんおばあさんになるころには、この一帯は豊かな森となっているに違いありません。森を歩きながら木について学び体験した一日は、子どもたちにとって自然について考えるきっかけとなったようです。

小さな苗木も50年後は大木になっているはず。元気に育ってね

今年100年を迎える  
三井物産の森  
「似湾山林」

苫小牧市の北東30キロにある山林で、面積は約4,700ヘクタール。社有林のなかでも最も活発に林業が行われている北海道における代表的な山林です

※詳細はwebサイトへ。「三井物産の森」で検索して下さい

### 参加者の感想!!

- ハーベスタが木を切っているところや、木を削っていたりしていた所が見えて面白かったです。
- 一番楽しみにしていたコースター作りは、意外と腕が震れたり、難しかったけどすごく面白かったです。
- 植樹もなかなかすぐには埋められなかったけれど、キレイに5本できました。とても楽しかったです。

### 身近なバスで...エコライフ!



排出される窒素酸化物を無害な水と窒素に分解する尿素SCRシステムを搭載

今回の「森のフィールドセミナー」は、北海道中央バスの協力でバスでの移動となりました。

人ひとりが同じ距離を移動する際に排出されるCO2の量を比べると、バスはマイカーの約30%、バスの利用は地球温暖化防止に役立ちます。また、バスには排気ガスに含まれている有害物質を分解しクリーンに排出する装置など、環境へ配慮したさまざまな装置が搭載されています。

北海道中央バスでは、「身近なバスで...エコライフ」をキャッチフレーズに、バスが地球環境に優しい乗り物であることを広くPRするとともに、ハイブリッド車や天然ガス車などの導入を進めています。

ご家庭での環境対策の一つとして、バスの利用を始めませんか?

私たちが北海道エコ・アクションを応援します!  
【OFFICIAL PARTNER】



北海道エコ・アクション 今できること、「考える」から「行動する」へ!

▶ 詳細はホームページへ <http://eco.hokkaido-np.co.jp>

北海道エコ・アクション

検索

企画制作/北海道新聞社広告局

## 社有林

しゃゆうりん

企業が所有・管理する森のこと。三井物産はもう100年以上にわたって、広大な森を守り続けています。現在では全国73カ所、約44,000ヘクタールもあります。でも総合商社がどうして森を? それは、地球環境を守るためであり、森が持つ社会的な価値を活かすためです。森は、多くの生命を支え、育む、エコロジーの宝庫。その大切な機能を、あなたはいつご存じでしょうか?

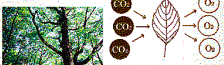


雄略園 ヤカンバク山林



全国73カ所に広がる三井物産の森

温暖化防止に貢献します  
三井物産の森は、地球温暖化の主な原因といわれている二酸化炭素を年間約16万トン吸収・固定するといわれています。



### 地球の浄水器です

森の土はスポンジのように雨水を蓄えて、洪水や濁水を防ぎます。そして雨水をゆっくりとろ過して水をきれいにしてくれます。



### 災害を防ぐ大黒柱です

山崩れなどの災害を防ぐのも森の大切な仕事。地中で深く広がった根は、土や岩をしっかりとつかえこみ、崩壊を防いでくれます。



### エコロジーの学校です

植林や林業体験、森林機能学習講座、自然観察プログラム。三井物産の森は、環境教育や地域活性化にも役立っています。



### 動物たちのわが家です

さまざまな動物はもちろん、天然記念物や絶滅のおそれのある動物も、三井物産の森で数多く確認されています。



三井物産  
の  
森

くわしくは 三井物産の森 検索



www.mitsui.com